

JAきたそらち
音江町有機農業研究会
特別栽培米 ななつぼし

～日本一の米産地になる～



役職員全員が日本一の米産地になる事を 理念に行動しています！



きたそらちWAY (生き方)

組織の普遍的方向性を示す「ビジョン」及び役職員のあり方を示す「共有価値観」と「行動原則」を通じて、全員がベクトルを一つに合わせ、経営理念を実現して参ります。

【経営理念 (存在意義)】
わたしたちは
『農業振興を通じて地域社会へ貢献』
します

【ビジョン】
わたしたちは
『日本一の米産地になる』
ことを実現します

【共有価値観】
わたしたちは
『粒粒辛苦』
の精神を大切にし常に人財5要素を磨きます

【行動原則】
わたしたちは
『自律利他』『自立主体』
を重んじ行動します

■『人財5要素』とは

- ①企画力 知識を蓄え課題を洗い出し改善の手立てを考える力。
- ②情報力 多くの情報を受信し、その蓄積を基礎に利用可能な情報を発信する力。
- ③技術力 先人の知恵の結集である伝統、また、最先端の手段や手法を学ぶ力。
- ④管理力 人との結びつきにおいて必要な人望や信用、魅力等、共に働く人が成果を上げられるように動かす力。
- ⑤組織力 個々の多様性を理解した上で、同じ目的の下で自らを変革させ組織の一体感を生み出す実行力。

めざす職員像

わたしたちは

① 組合員、利用者、地域社会、そして、家族に
『“寄り添う”ことができる
「自律創造型」の職員』
をめざします

- ② あらゆる相談にワンストップで対応できる職員としての“ゼネラリスト”をめざします。
- ③ 専門性を活かした確かつ迅速に対応できる職員としての“スペシャリスト”をめざします。
- ④ 組合員のニーズから、果ては夢までも引き出し、それに真摯に向き合い新たな提案ができる職員をめざします。
- ⑤ 慣例にとらわれることなく、「新しい“やり方”」を常に考える職員をめざします。
- ⑥ 組合員の声と真摯に向き合い“この職員がいるから農協を利用するのだ”と組合員から言ってもらえる職員をめざします。

※そして、全役職員が同じ目的を共有した“チーム”としての総合力で専門的かつ農協らしく対応することをめざします。

職員行動規範

- ① 「自律利他」「自立主体」を常に重んじます。
- ② 周囲を巻き込みながら自ら提案して実践します。
- ③ 情報収集・転化・共有・提供を的確に実施します。
- ④ 高度な知識や経験を積み、組合員や地域の期待に応えるプロ意識を持ちます。
- ⑤ 組合員や地域から信頼・感謝されるよう励みます。
- ⑥ 上司・先輩・同僚の指導・助言を謙虚に聴き入れます。
- ⑦ 自ら変革し業務や物事を着実に実行します。
- ⑧ イベント等を通じて組織・地域の一体感を生み出します。

稲は足音を聴いて育つ

毎日、田んぼに足を運んで稲の面倒をみる人がいるから、稲は元気に育つ。という意味。
これはJA職員にも当てはまる事ではないだろうか。例えば、組合員や地域へ足を運び5分でも10分でも声をかけて話を聴く。ちょっとした事、ちょっとした時間だけでも“継続”する。
そんな行動が目映りに留まり、組合員・地域から信頼され、相談され、期待されることに繋がるのではないだろうか。

JAきたそらち 音江町有機農業研究会



1. クリーン農業の実践！

2. 安全なお米をお届けする為のお米の調製施設！

3. 未来におコメをつなげる取組み！



1. クリーン農業の実践

北海道の農家のレベルは年々あがっており、
各町、味の差はほとんど無く、
美味しい北海道米が全国に出荷されています。

様々な産地の中から皆様に選ばれるため、
JAきたそらちは

「クリーン農業」

を推進しています。

1. クリーン農業の実践

環境思考米

YES！ Clean等
環境に配慮した取組
約96%

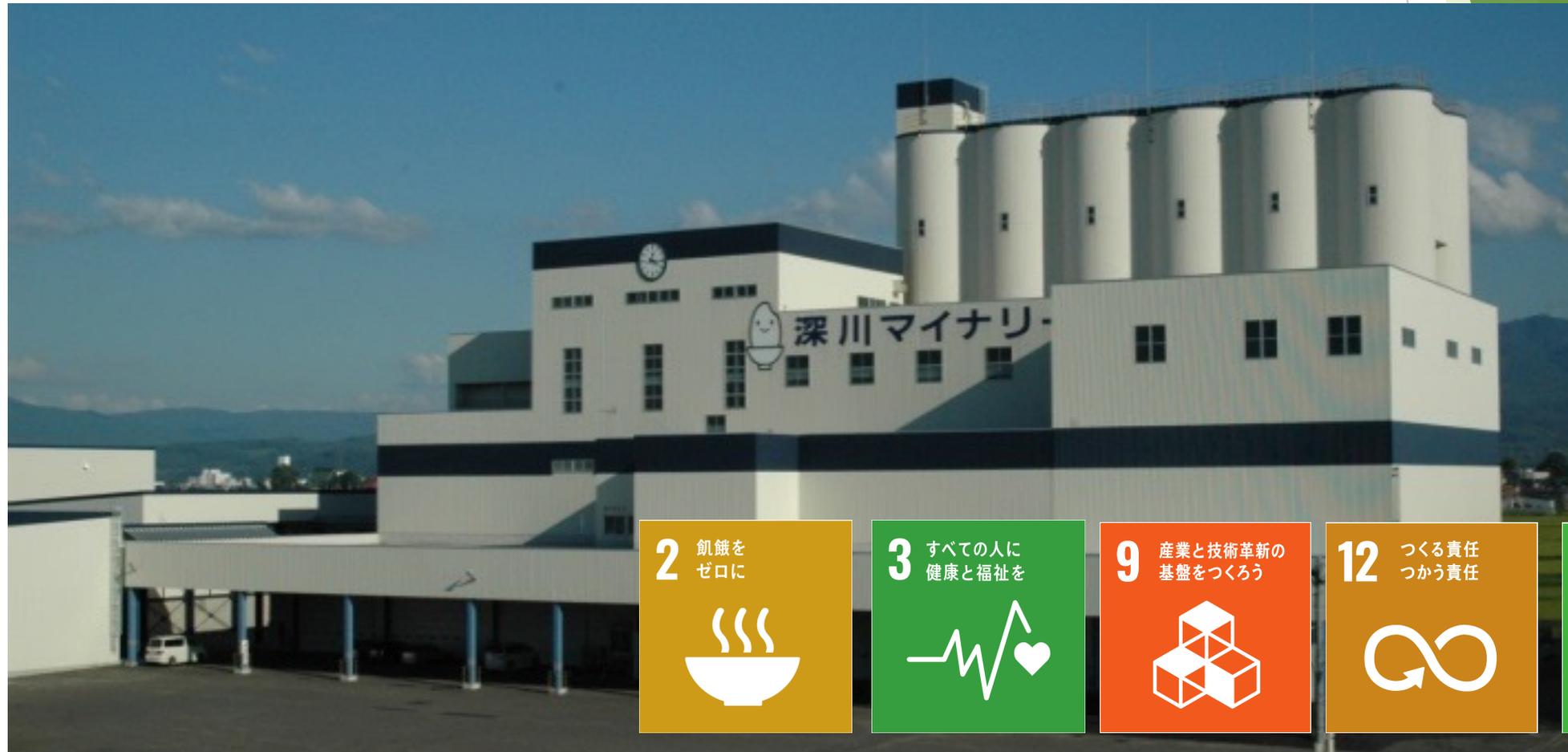
15 陸の豊かさも
守ろう



2. 安全なお米をお届けする為のお米の調製施設

深川マイナリー

道内最大級！



2 飢餓を
ゼロに



3 すべての人に
健康と福祉を



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



①生産者は刈取した粍を持って施設へ

荷受設備

コンテナ・バラ搬入



秋の受け入れ時期は
忙しくて「**わや**」です！

生産者ごとに
計量・自主検査・仕分



② 粳から水分を飛ばします。



乾燥設備

水分15.0%まで乾燥
仕上げ乾燥を一括で行う事により
水分のバラつきがないお米になります。

炊飯時の水加減は
毎回同じで大丈夫(^^) /

もうすぐで帰るからお米うるかしといて～

③サイロで一休み

粳貯蔵（サイロ・低温倉庫）



乾燥を終えた、粳はすぐに製品にされる粳とサイロに保管される粳とに分けられます。

サイロで保管される粳は、北海道で一番「**しばれる**」時期2月にマイナス5度以下の「**しゃっこい**」外気を取り入れ粳を休眠状態にします。

こうする事により新米の味そのまま夏場もマイナス温度で保管ができ、北海道ならではの「**エコ**」な保管方法です。

すご**いっしょ**？

④ 粃から玄米へ

粃摺り設備



網でふるって選別されたお米は
製品とくず米に分かれます。

くず米は「米菓」「味噌」「焼酎」
「家畜のエサ」「糊」等
に使用され、
投げる事なくすべて使用します。

⑤ どんなお米も見逃さないスナイパー

色彩選別機は、被害粒(虫や病気、気候状態で変色したお米)や異物除去を目的とした選別機。

通常被害粒がないお米は色彩選別機を使いませんが、深川マイナリーでは万が一の異物混入を防ぐため「全量色彩選別機」をとおします。



色彩選別機

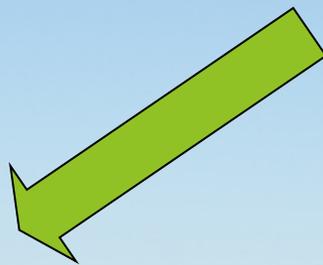
この機械は誰でも「ちよす」事は出来ません。
お米を知り尽くした熟練された職員が操作します。

⑥いざ！出荷

出荷設備



製品一時保管
(低温倉庫)



3. 未来におコメをつなげる取組

8 働きがいも
経済成長も

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

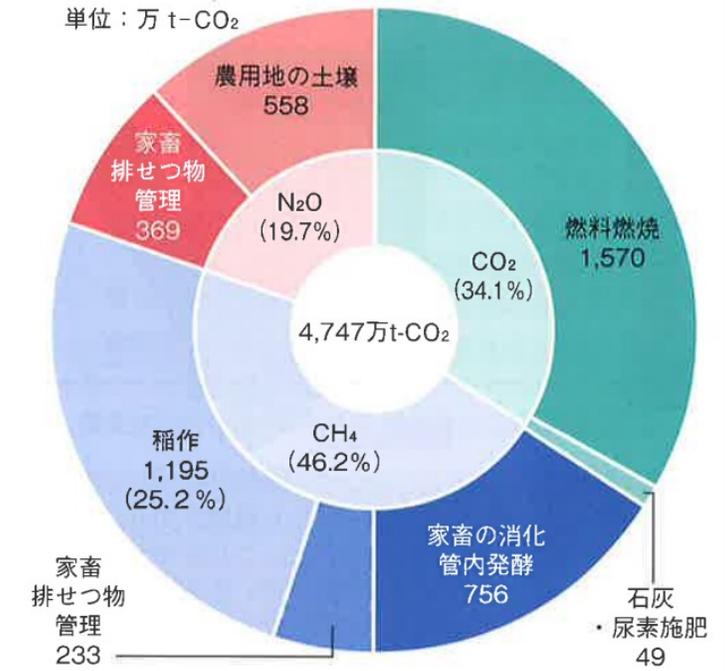
15 陸の豊かさも
守ろう

- ・クリーン農業を実施し、環境に配慮した米作りの推進を行っています。
- ・国内の農林水産分野の温室効果ガス排出量の3割弱は稲作が占めます。
**温室効果ガス(メタン)の削減のため、収穫後は稲わらの搬出
 又は秋おこしを実施を呼びかけています。**

4 質の高い教育を
みんなに



13 気候変動に
具体的な対策を



情報発信のご紹介

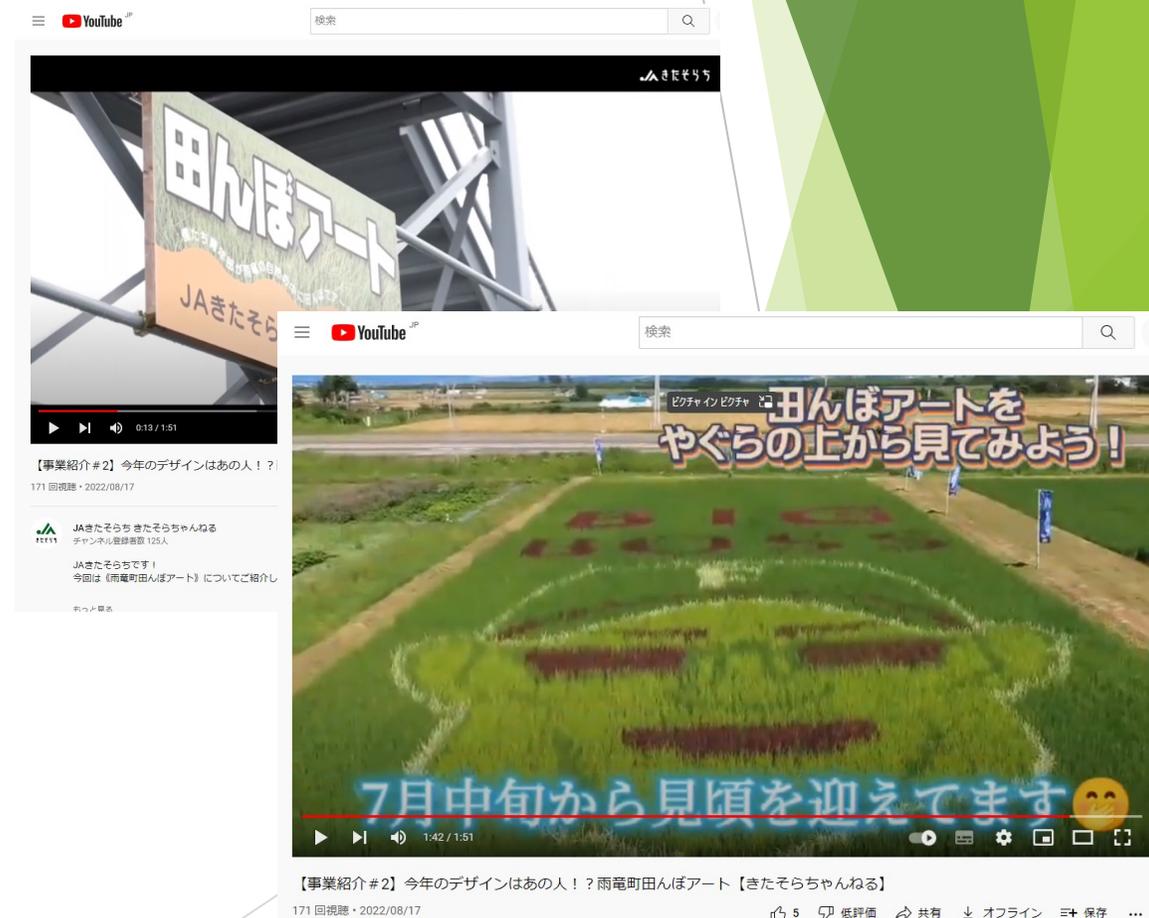
17 パートナシップで
目標を達成しよう



Instagram
@ja_kitasorachi



YOUTUBE
JAきたそらち きたそらちゃんねる



私達は米農家として安全なお米を作る
責任があります。

12 つくる責任
つかう責任



JAでは
安心安全な施設で、細心の注意を払いお米を調製しています。

音江町有機農業研究会
特別栽培米「ななつぼし」
を宜しくお願い致します。

環境思考米の
チャレンジはまだまだ続きます！

したっけね～(〃) /

